

## 国際サンゴ礁年 2008 について

### 1. 経緯：

サンゴ礁保全のための国際的枠組みである国際サンゴ礁イニシアティブ（ICRI）は、平成 18 年 10 月にメキシコで開催された総会において、2008（平成 20）年を国際サンゴ礁年として指定し、各国で、様々な関係者が協力して、サンゴ礁の保全や普及啓発にかかわる行事の開催を推進することを決定。

環境省では、多様な主体の参加によって、国際サンゴ礁年の計画・実施にあたりたくべく、関心のある企業、マスコミ、ダイビング指導団体、水族館、NPO、自治体等を集め、「国際サンゴ礁年説明会（1月26日）」、「国際サンゴ礁年 2008 キックオフミーティング（3月28日）（以下キックオフミーティング）」等を開催。

### 2. 国際サンゴ礁年の目的：

#### ICRI の決定

次の目標を達成するため、2008 年（1月1日～12月31日）を国際サンゴ礁年に指定する。

- サンゴ礁と関連生態系の高い生態的、経済的、文化的な価値についての理解、そして、そのサンゴ礁が重大な危機に直面しているという理解を広める。
- サンゴ礁と関連生態系の保全と持続可能な利用のための有効な管理戦略の策定と実施のため、すべてのレベル（官、民、NGO、地域住民等）で、早急に行動を起こす。

我が国においては、ICRI の決定を踏まえ、「キックオフミーティング」において、「サンゴ礁に関心を持つ人、サンゴ礁を体験する人、サンゴ礁のために行動する人を飛躍的に増やす」ことを目的とし、キャッチフレーズ「知ろう、行こう、守ろう」とすることを決定。

### 3. 国際サンゴ礁年推進委員会

「キックオフミーティング」において、国際サンゴ礁年の推進に向け、多様な関係者が参加する推進委員会の立ちあげを合意。推進委員会においては、我が国において、国際サンゴ礁年が多様な主体の参加により展開するため、国際サンゴ礁年の活動計画の策定等を行う予定。

# 2008 年を国際サンゴ礁年とする決議（仮訳）

（ I C R I 総会， 2006 年 10 月 23 日、コスメル（メキシコ））

## 背景

1997 年の国際サンゴ礁年では、サンゴ礁と関連生態系の重要性についての認識を高める上で、成功を収めた。

（ 10 年後の ） 現在も、重要なサンゴ礁と関連生態系の一層の保全・修復の必要性について、認識と理解を深めていく必要がある。

## I C R I の決定

次の目標を達成するため、2008 年（ 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日 ） を国際サンゴ礁年に指定する。

- サンゴ礁と関連生態系の高い生態的、経済的、文化的な価値についての理解、そして、そのサンゴ礁が重大な危機に直面しているという理解を広める。
- サンゴ礁と関連生態系の保全と持続可能な利用のための有効な管理戦略の策定と実施のため、すべてのレベル（官、民、 N G O、地域住民等）で、早急に行動を起こす。

## 奨励される活動

I C R I 参加国・参加組織は、国際サンゴ礁年（ 2008 年 ） までの計画立案、および 2008 年中の行事を支援し、積極的に参加する。

I C R I 参加国の代表者は、国際サンゴ礁年における、各国での（ 様々な主体による ） 活動の展開を促進する。